

2025年、厚生労働省「難治性の肝・胆道疾患に関する調査研究班・門脈血行異常症分科会」による「門脈血行異常症（特発性門脈圧亢進症、原発性肝外門脈閉塞症、バッド・キアリ症候群）の全国疫学調査」を実施しています。本年1月に、対象診療科の先生宛に、調査依頼状をお送りいたしました。

一次調査では「2024年1月～12月に貴診療科を受療した当該疾患の患者数」を調査しています。まだご回答がお済みでない場合は、はがきのご返送をおねがいいたします。なお、以下のURLから、Web入力でのご回答も可能です。

<https://redcap.med.omu.ac.jp/redcap/surveys/>

アクセスコード：YYJK4TM78

QRコード：



「該当する患者あり」の場合には、7月頃に、二次調査のご依頼をお送りいたします。個々の患者様の臨床情報につき調査票を同封する予定ですが、二次調査へのご回答は以下のURLからのWeb入力も可能です。

<https://redcap.med.omu.ac.jp/redcap/surveys/>

アクセスコード：AECRNYLPD

QRコード：



合わせてご協力くださいますようお願い申し上げます。

厚生労働省「難治性の肝・胆道疾患に関する調査研究」

研究代表者 田中 篤（帝京大学医学部内科学講座教授）

門脈血行異常症分科会長 古市 好宏（東京女子医科大学附属足立医療センター検査科・消化器内視鏡科准教授）

疫学調査担当 大藤さとこ（大阪公立大学・公衆衛生学准教授）